



伊那市中学生キャリアフェス2020 報告書

伊那市中学生キャリアフェス実行委員会

令和2年11月12日(木)の「伊那市中学生キャリアフェス2020」開催に向け、昨年度末よりキャリアフェス実行委員会を立ち上げ準備してきました。広い会場に伊那市の中学2年生約660人と、地域の大人たち200人以上が集まり、総勢約1000人規模で人とふれあい、地域を知る時間となるはずでした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は、学校の臨時休校に始まり、様々なことが昨年とは違いました。思うように動けない、集まらない中、オンライン会議を活用しながら、「今年のキャリアフェスは開催できるのか?」「集まって開催できるのか?」というところから考える始まりとなりました。

中止するという判断はリスクを最も回避できる選択だと思います。しかし、与えられた条件の中で何をどう考え工夫すれば「できる」ことを現実化できるのかを考えること、ネガティブに捉えず状況を把握し、柔軟な発想で新しい方法を見つけ出していきました。

様々な条件、状況をクリアし、開催ができるめどを立て準備を進めてきた中、キャリアフェス5日前に市内で新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されたことは、実施に向けて準備してきた実行委員会にとって大きな打撃となりました。しかし、生徒実行委員12人の悔しい、開催したいという熱い想いが通じ、形を変えオンラインにて開催することができました。実質3日での準備となり、出展予定事業者の皆さんには大変ご迷惑をおかけすることとなりましたが、このような状況の中でも、多くの地域の方々がオンライン開催に向けて協力していただき、開催できたことはとても大きな意味があったと思います。

今年度だからこそそのキャリアフェスが開催できたことで、新たな可能性や方法も見出すことができ、様々な制約の中でも前に進むことの大切さも知ることができたキャリアフェス2020となりました。

伊那市中学生キャリアフェス実行委員会事務局



新聞だけでなく、社内報や業界誌などにも取り上げていただきました。

伊那市中学生キャリアフェス2020 開催概要 当初案

開催期日 令和2年11月12日（木）
 時間 9時30分から15時30分まで
 会場 エレコム・ロジテックアリーナ、防災コミュニティセンター
 主催 伊那市中学生キャリアフェス実行委員会
 後援 郷土愛プロジェクト
 参加中学校 伊那中学校・東部中学校・西箕輪中学校・春富中学校・高遠中学校・長谷中学校
 参加生徒数 661人
 出展数 79
 昼食 かんてんスープ（伊那食品工業（株）提供）・五平餅（（株）鈴平）
 ローメン（ローメンズクラブ）・軽食（持参）・お茶（持参）

密を避けるため生徒を3グループに分け、4エリアをローテーションしながら回る
 各エリアでは自由に行きたい、見たいブースを選ぶことができる
 各ブース内の定員数を設け、生徒自身が密具合を判断してブースを巡る
 エリア移動時も一歩通行になるように動線を作る
 マスクの着用・消毒液の設置・サーマルカメラの設置
 参加者全員の2週間前からの健康チェックの実施

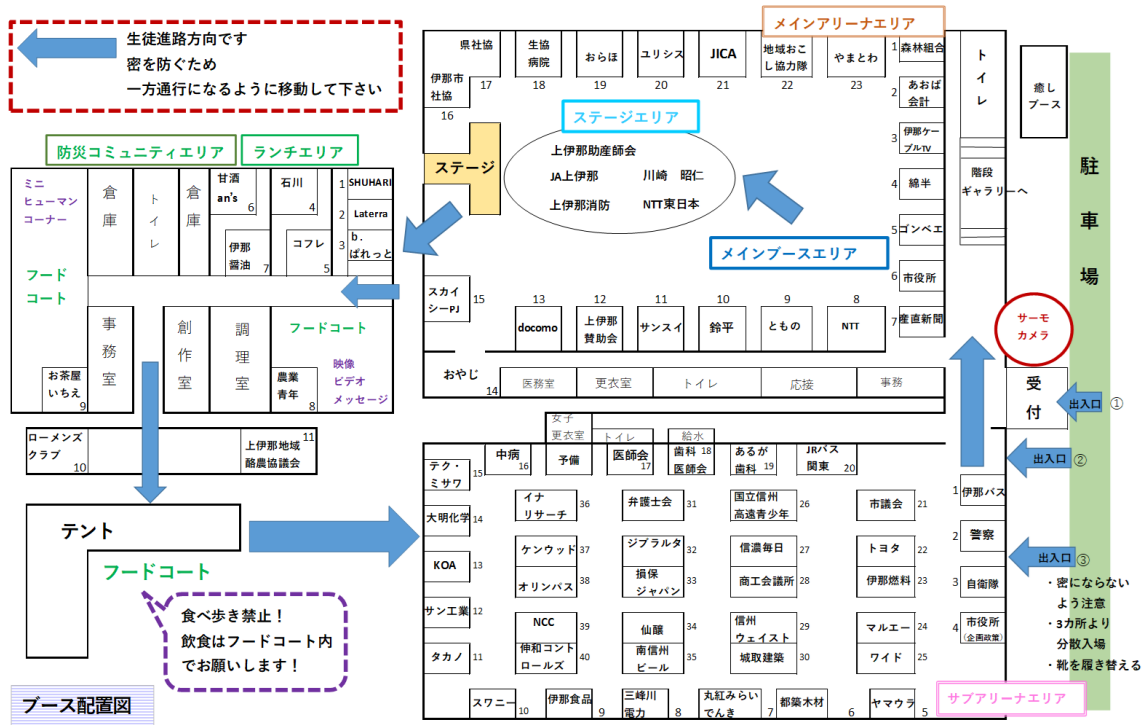
会場全体タイムテーブル

	メインアリーナエリア		サブアリーナエリア	防災コミュニティエリア ランチエリア
	メインブースエリア	ステージエリア		
	1：ブース出展 23ブース 1ブース定員 9名 生徒自由に回る	2：ヒューマン オンライン 5団体 番組表形式 全員視聴	3：ブース出展 40ブース 1ブース定員 6名 生徒自由に回る	4：飲食ブース フードコート 他 11ブース 一部屋定員15名 食券配布 飲食場所指定
9:15	生徒到着			
9:30	オープニング 開祭宣言！！ 間隔をとってメインアリーナ集合			
10:15	A	B	C	準備
11:10	移動10分			
11:20	B	C	出展者も 自由に見学	A
12:15	移動10分			
12:25	C	出展者も 自由に見学	A	B
13:20	移動10分			
13:30	出展者も 自由に見学	A	B	C
14:25	移動			
14:40	クロージング 閉祭宣言！！			
15:30	各学校バスに乗って移動			

ステージエリアタイムテーブル

9:30		全員集合
		オープニング
10:10		生徒移動
10:15	B グループ	上伊那助産師会（25分）
11:10	55分間	JA上伊那（25分）
11:20		生徒移動
11:20	C グループ	上伊那広域消防本部（25分）
12:15		川崎 昭仁（25分）
		空き
13:20		生徒移動
13:30	A グループ	NTT東日本（35分）
	55分間	JA上伊那（15分）
14:25		生徒移動
14:40		クロージング
15:30		

密を避けるための会場分散とローテーション移動



出展予定事業者リスト 当初案

(有) 友野菓子店、大明化学工業(株)、KOA(株)、信濃毎日新聞社、菓子庵石川、伊那バス(株) 伊那警察署、タカノ(株)、上伊那森林組合、自衛隊長野地方協力本部伊那地域事務所、伊那市役所、(株) 鈴平、(株) 城取建築設計事務所、伊那食品工業(株)、ベーカリーハウスコフレ、甘酒屋 an's、(株) ワイド、サン工業(株)、(株) テク・ミサワ、(株) イナリサーチ、上伊那地域酪農協議会 伸和コントロールズ(株) 長野事業所、伊那ケーブルテレビジョン(株)、特殊法人伊那商工会議所 伊那市議会、長野県社会福祉協議会、伊那醤油(株)、ネイルサロン Yuleses、(株) 産直新聞社 南信州ビール(株)、(株) ヤマウラ、(有) フラワーピース南信州サンスイ、伊那市企画政策課 (株) 綿半ホームエイド伊那店、ジブラルタ生命保険(株)、伊那農業青年研究会、bばれっと アーキュルヴェーダサロン SHUHARI、(株) Laterra (1FLOBBY)、宅幼老所おらほ、(株) 仙醸 医療法人 smile&Wellness あるが歯科クリニック、(株) やまとわ、伊那市歯科医師会、NCC(株) JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所、三峰川電力(株)、伊那中央病院、都築木材(株)、JA 上伊那 オリンパス(株) 長野事業場、スカイシープロジェクト合同会社、税理士法人あおば会計 伊那燃料(株)、(有) スワニー、丸紅伊那みらいでんき(株)、長野県弁護士会上伊那在住会 国立信州高遠青少年自然の家、風船遊劇団ゴンベエワールド、NTT 東日本、損保ジャパン(株) (株) ドコモ CS 長野支店、昭和のおやし十、(株) JVC ケンウッド長野、(株) 信州ウェイスト、 NTP トヨタ信州(株)、伊那市地域おこし協力隊、伊那市社会福祉法人連絡会 上伊那賛助会、 (株) マルエー、伊那ローメンズクラブ、上伊那医療生活協同組合、お茶屋いちえ、伊那市医師会、 上伊那助産師会、JR バス関東(株) 中央道支店、上伊那消防本部、川崎昭仁 FAITH(メッセージ)

※順不同敬称略

11月7日 伊那市内にて新型コロナウイルス感染症の感染が確認され、状況を踏まえ、一か所に大勢が集まることは難しいと判断し参集開催中止の決定。

11月9日 オンライン開催への変更を各事業所へ通知

オンライン開催概要

開催期日 令和2年11月12日(木)
時 間 9時30分から15時30分まで
配信拠点 エレコム・ロジテックアリーナ
ブース拠点 防災コミュニティセンター・各企業
生徒拠点 各中学校
主 催 伊那市中学生キャリアフェス実行委員会
後 援 郷土愛プロジェクト
参加中学校 伊那中学校・東部中学校・西箕輪中学校・春富中学校・高遠中学校・長谷中学校
参加生徒数 661人
出 展 数 61(個人・企業53、生徒実行委員7、メッセージ動画1)
昼 食 かんてんスープ(伊那食品工業(株)提供)・五平餅((株)鈴平)・軽食(各自)

オンライン開催出展者

個人・企業ブース

大明化学工業(株)、信濃毎日新聞社、菓子庵石川、伊那バス(株)、サン工業(株)、NTT 東日本(株)イナリサーチ、タカノ(株)、自衛隊長野地方協力本部伊那地域事務所、NCC(株)(株)城取建築設計事務所、伊那食品工業(株)、特殊法人伊那商工会議所、伊那市歯科医師会
伸和コントロールズ(株)長野事業所、伊那ケーブルテレビジョン(株)、伊那市議会、KOA(株)(株)ヤマウラ、ネイルサロンYuleses、(有)フラワーピース南信州サンスイ、bぱれっと
アーユルヴェーダサロンSHUHARI、(株)Laterra(1FLOBBY)、宅幼老所おらほ、(株)仙醸
医療法人 Smile&Wellness あるが歯科クリニック、(株)やまとわ、伊那市社会福祉法人連絡会
伊那中央病院、JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所、(株)マルエー、都築木材(株)、伊那市役所
上伊那地域酪農協議会、税理士法人あおば会計、伊那燃料(株)、(有)スワニー、お茶屋いちえ
丸紅伊那みらいでんき(株)、(株)ドコモCS長野支店、昭和のおやし十、損保ジャパン(株)
伊那市企画政策課、伊那市地域おこし協力隊、伊那市医師会、JRバス関東(株)中央道支店
(株)キッツ、JA上伊那、気持ちも体も大きな網野さん、Shimizuのしんちゃんコーナー
こんな経験したことある?、イケメンin伊那谷

生徒実行委員主催ブース

鬼滅の間、イラスト部屋、アニメ部屋、仮面ライダーの部屋、吹奏楽の部屋、バレー・ハイキュー
恋バナ

メッセージ動画

FAITH

※順不同敬称略

ご協力いただいた皆様

(有)進徳教材社、根橋プランニング合同会社、伊那電装(株)、(株)鈴平、NTT東日本
 伊那食品工業(株)、Links、EPSON販売(株)、(株)セイビ堂、(株)エクシオテック
 風船遊劇団ゴンベエワールド、伊那市GIGAサポーター ※順不同敬称略

ご協賛いただいた皆様

アーユルヴェーダサロンSHUHARI、税理士法人あおば会計、菓子庵石川、(株)イナリサーチ
 伊那バス(株)、伊那醤油(株)、NTT東日本、オリンパス(株)長野事業場、上伊那助産師会
 上伊那森林組合、花鳥屋旅館、JA上伊那、KOA(株)、サン工業(株)、(株)産直新聞社
 信濃毎日新聞社、(株)城取建築設計事務所、シブラルタ生命保険(株)、三峰川電力(株)
 (有)スワニー、(株)鈴平、(株)仙醸、損保ジャパン(株)、宅幼老所おらほ、都築木材(株)
 (株)テク・ミサワ、bぱれっと、(有)フラワーピース南信州サンスイ、伊那農業青年研究会
 (株)マルエー、(株)やまとわ、(株)ヤマウラ、(株)Laterra(1FLOBBY)、ネイルサロンYuleses
 タカノ(株)、自衛隊長野地方協力本部伊那地域事務所 ※順不同敬称略

9:30	15分	Zoom入室	クラス単位または タブレット毎入室	
9:45	OP 55分	5分	明日への動画	
9:50		5分	実行委員自己紹介 今までの	
9:55		5分	実行委員の動画	
10:00		5分	テーマ発表	
10:05		30分	向山会長基調講演	
10:35	5分	説明	ブース巡りの説明	
10:40	Zoom ブース 巡り	10分	休憩・Zoom入室	
10:50		20分	Zoom 1	
11:10		5分	切り替え	
11:15		20分	Zoom 2	
11:35		5分	切り替え	
11:40		20分	Zoom 3	
12:00		5分	切り替え	
12:05		20分	Zoom 4	
12:25		60分	お昼	五平餅・伊那食品スープ 各学校にて
13:25		5分	Zoom入室	昼食後再度Zoomへ入室
13:30	CL 50分	10分	市長メッセージ	会場から生徒へのメッセージ
13:40		5分	FAITHメッセージ	メッセージ動画
13:45		5分	切り替え	
13:50		20分	Zoom 5	Zoomのミーティング機能を使 ってブース巡り
14:10	5分	切り替え		
14:15	20分	Zoom 6	各学校から直接各企業のZoom へ入室	
14:35	5分	切り替え		
14:40	30分	シェアリング 生徒感想発表	ブレイクアウト機能利用 前もって分科会分け 1回予定	
15:10	5分	切り替え		
15:15	10分	田畑実行委員長 生徒実行委員感想	拠点より実行委員生徒発表	
15:25				
15:30			終了	

オンラインキャリアフェスタタイムテーブル

伊那市としても、市内6中学校にて同時にアクセスをすることは初めてであったため、ネット環境の心配はありましたが、ICT支援員の方々にも協力していただき、大きなトラブルなくメイン会場及び、各出展者ブースへアクセスできました。
 生徒たちは、臨時休校などコロナ禍において、ネットを利用した学習がより身近になりました。

オンラインブース一覧表：各ブースのZoomアカウントとQRコード一覧を見ながら入室

大明化学工業株式会社	KOA株式会社 風を見にいこう!	信濃毎日新聞社 新聞記者ってどんな仕事?	菓子庵 石川
ID: 950 2555 4115 パスコード: 268XR	ID: 623 7921 3069 パスコード: 92929	ID: 927 0774 8539 パスコード: 133030	ID: 966 1067 9566 パスコード: 30232U
伊那バス株式会社	株式会社イナリサーチ	タカノ株式会社	
ID: 900 2455 4115 パスコード: 268XR	ID: 633 8031 8033 パスコード: 694050	オフィス椅子やケイタイなど身近な 製品を開発している会社!	
NCC	伊那市役所	城取建築設計事務所	伊那食品工業株式会社
ID: 859 5218 7017 パスコード: 01102V	ID: 927 7735 5092 パスコード: 133030	ID: 927 0774 8539 パスコード: 133030	ID: 966 1067 9566 パスコード: 30232U
伊那市議会事務局	Nail Salon ~Yuleses~ お客様の人生を豊かにしていく	株式会社 ヤマウラ ヤマウラのものづくりの世界 を感じること	フラワーピース南信州サンスイ 接客。人を通じて思うこと
ID: 318 322 8080 パスコード: 01102V	ID: 303 760 4164 パスコード: 133030	ID: 927 0774 8539 パスコード: 133030	ID: 274 339 3043 パスコード: 7K16G5
b.ぱれっと(まちの保健室)	アーユルヴェーダサロンSHUHARI セラピストの仕事について	株式会社ラテラ(1FLOBBY)	宅幼老所 おらほ
ID: 203 040 8084 パスコード: 12345	ID: 808 762 5167 パスコード: 12345	ID: 927 0774 8539 パスコード: 133030	ID: 732 502 0723 パスコード: 31102U

広い体育館の中に配信拠点を設置
体育館にいる生徒は生徒実行委員のメンバーのみ



ICT 支援員の皆さんが、メイン会場及び各学校にて、
オンライン開催の支援にあってくれました。



生徒感想1 ～急遽オンライン開催と聞いてどう思った？～

直前でオンライン開催に変更になり、各校で報告を聞いた中学2年生は次のように感じました。

- ・突然の事で頭が真っ白になった。
- ・試食とか実際にできないことが残念
- ・正直すごくがっかりしました・・・(泣く)
- ・保育園の頃の友達に会えると思っていたので、残念だった
- ・他校の生徒と会いたかった。話してみたかった。残念
- ・残念だけど、楽しみは変わらない。
- ・正直 Zoom は面白くないと思った。けど面白かった。
- ・すごく楽しみだったので本当に残念だった。でも楽しまない理由は無いと思った。
- ・最初はマイナスの感情が多かったが、後からプラスに変わり「やってやろう」と思った。
- ・中止になるんじゃないかと、こういうかたちで開催できて良かったと思う。すばらしい！
- ・少し寂しいけどコロナの中でできたことがとてもうれしい。
- ・新しい感じがしてとても良いと思った。
- ・オンラインでできる世の中になりすごいと思った。
- ・オンライン開催となっても、一生懸命頑張っている実行委員の姿がかっこいい！！
- ・実行委員会の人はずごい。感謝しかない。精一杯楽しみたい。
- ・急な変更で悲しかった。でも今日はその悲しさを吹っ飛ばせるくらい楽しみたい。
- ・今までの卒業生がやってこなかったことなので、これはこれで楽しみたい

画面の向こうに笑顔が届くように



まずは、自ら楽しもう！ 精一杯想いを伝えたい！

＜基調講演＞ 郷土愛プロジェクト向山孝一会長

キャリアフェス当初より後援いただいている郷土愛プロジェクト、向山孝一会長にオンラインにて基調講演をしていただきました。

直前に参集開催が中止になり、今年度のキャリアフェスがどうなるのかというときに、生徒実行委員の想いを聞き、基調講演を引き受けてくださいました。

講演のテーマは「地域に学び、地域のでふるさとの未来をつくる」

会社だけでなく、地域全体を見据えた考えを常に持っている向山会長からこれから社会に出ていく中学生へのメッセージは、人間だけの利便性を求める時代はもう転換期であり、利己主義から利他主義へ。真の豊かさとは「モノ」から「コト」へと変わってきている。ということをお伝えいただきました。また、地球温暖化や災害などのことにも触れ、「限りある資源とも共存していかなければいけない」。とお話してくださいました。

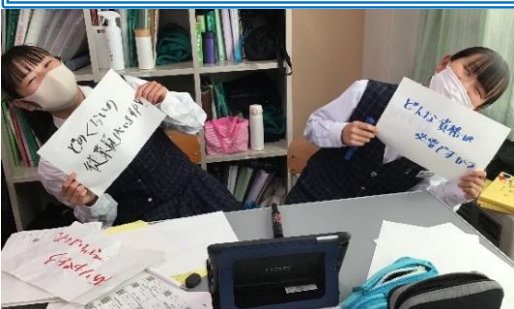
向山会長のお話から、生徒たちがそれぞれに感じ取ってくれるものがあつたかと思ひます。この伊那谷の豊かな資源とは何か。自分たちがこれからどんな考えをもって大人になっていくのか。今回のお話が数年後に芽をだす種になっていたらと願ひます。



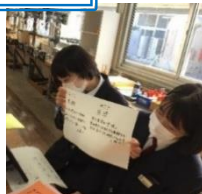
各学校での様子：2～3人で1台のiPadを使って参加しました。



オンライン上のチャット機能だけでなく、身振り手振りを使ったり、紙を使ってみたり、工夫しながら交流している姿が見られました。シェアリングは各会場毎に感想を共有しました。



プログラムによって大画面で見たり、少人数に分かれたりしました。



生徒感想2 ～一人一人の未来の花を咲かすために～

- 伊那でも世界に誇れる技術や仕事があるということを知りました。
- 初の試みと急遽だったのに、こんなに楽しめる内容にしてくれてすごい！
- 会社1つ1つが違う心構えがあって、面白そうだった会社がいくつもあった。
- どのブースも、「大切なことはあきらめないことだ」と言っていた。
- 人の為に「自分ができること」という考えを持ち、一生懸命働いてる人が大勢いた。私もそんな思いを持てる大人になりたい。
- 知らないことが沢山あることに気付いた。
- もともと抱いていたイメージが変わった。
- 話を聞いて、そのお店に今度行ってみたいと思った。
- やってみたいこと、挑戦してみたいことが見つかった。
- 地元で働きたいと思った。
- 世界に誇れる会社に入りたいなと思った。
- どんなことにも挑戦できる大人になりたい。
- 将来、周りを巻き込める人になりたいなと思った。
- 夢は口に出す。
- 社長でも失敗しているんだと知れた。
- 地域との距離が縮まった。
- 将来東京に行きたいと思ったけど考えが変わった。
- 生徒実行委員企画のブース、とても面白かった。
- 話を聞いた会社に興味が湧き「この会社行ってみたいな」と思った。
- 今までも思っていた自分の将来と、全然違う分野に興味を持った。
- 自分の将来について少しづつ考えてもいいのかなと思った。
- 仕事ってお金を稼ぐことだけじゃないんだということがわかりました。
- 働くことは、自分のためでもあるけど、人のためでもあるんだなと思った。
- 社会に出てからも勉強って必要なんだとわかった。
- 今まで、人にばかにされると思ったから自分の夢を人に言うことができませんでした。でも今日いろいろな夢を持っている人がいるということを知って、自分の夢にもっと堂々と向かっていいんだと思えた。
- キャリアフェスには興味なかったけど、参加してみたら、いろいろな仕事に興味を持てたし、やってみたいと思える仕事もあった。
- 現時点で明確な夢はないからこそ、いろいろなことに挑戦や経験してみたいと思った。
- やってみたいということが増えた気がする。
- 自分自身の中の知らない自分を見つけられるように、いろいろな経験をしたいと思った。
- 挑戦って大切なんだと思った。
- 「自分に対してオープン」自分の好きな事、苦手な事、強み、自分を一番知ってる人になりたい。

- ・将来どこで暮らそうとも、この伊那谷にいつか戻ってきて、ここで仕事を探し、伊那谷を盛り上げていけたらいいなと思った。
- ・私が将来描いていることをしている人に出会えた。
- ・よくわからないからテキトーに選んだブースだったけど、話を聞いたらどこも面白かった。
- ・知ってると思った会社でも、話を聞いたら知らないことばかりで、いい意味でイメージと全然違った。
- ・この状況下で、これだけ充実した1日が過ごせたことに、多くの人の協力を感じた。
- ・普段話さない人とも話すことができたし、直接会わなくても他校の人とも話せて面白かった。
- ・一つの会社の中でも、いろいろな仕事があるのがわかった。
- ・何気なく入ったブースから刺激と発見をもらえた。
- ・自分自身の約束を守って、自分に自信を持てる人になりたい。
- ・伊那市に貢献できる人になりたい。
- ・ここにいても、様々な将来を描けるんだと思いました。
- ・いろいろなことに興味をもって、失敗しても挑戦できる人になりたい。
- ・自分で自分のことを決められる人になりたい。
- ・裏で（見えないところで）頑張っている人たちが大勢いることに感謝したい。
- ・誰かに必要とされ、何かを与えられる大人になりたい。
- ・将来、キャリアフェスで話す側の大人になっていたら面白いなと思った。
- ・全部面白かった。だからこそもっと興味をもってブースに入ればよかった。
- ・中学のうちに、こんな機会があつてほんとありがたい。
- ・名前だけしか知らなかった企業の、名前以外を知ることができた。
- ・長野県じゃなく、「伊那市」に日本一があることをみんなに伝えたい。
- ・成れる為れる必ずなれる！
- ・フェスに影響された人、この先の人生が変わった人何人もいるな〜って思った。
- ・学校にいただけじゃわからないことがいっぱい知れた。
- ・偏見を持っていた仕事があつたけど、話してそうじゃないことを知れた。
- ・いつも食べていたお菓子の裏側を知ることができた。
- ・夢を応援する企業があることに驚いた。
- ・今まで伊那を知ろうとしなかった。こんな機会がなかったら興味をもてなかったな。
- ・期待していなかったキャリアフェスだったのに、持っていた疑問が解決して将来が見えた気がしました。
- ・父親が頑張っている姿を見ることができ大満足です。
- ・「社会」という感覚を味わえた1日でした。
- ・1つ1つの価値観を否定せずに受け止められる大人になりたいと思った。
- ・自分のなりたい姿と真逆のものを見る機会になった。いろいろな仕事があるんだと知ることができた。逆のものを見ることって大切だと思った。
- ・やっぱり、都会に行きたいと思った。
- ・学校の授業では学べないことをたくさん学べる時間だった。

- ・いろいろな仕事の話聞いたことで、もっと他の仕事のことも知りたかったと思った。
- ・夢がなかったり、ぼんやりしているのは自分だけじゃないと知り、びっくりしたしほっとした。
- ・シェアリングで友達の夢を聞き、今まで聞いたことないからびっくりしたけど、人のことを知るって大事だなと思った。
- ・笑いながら学ぶことができた。
- ・人を笑顔にする仕事っていいなと思った。
- ・キラキラしている大人になりたいと思った。
- ・時間が短い！もっと話を聞いていたかった。
- ・Zoom は意外と質問しやすかった。
- ・Zoom だからこそ自分の意見が言いやすかった。
- ・手に職をつけたいなと改めて思いました。
- ・伊那市の大人の温かさを改めて感じた。
- ・大人になってからも夢って叶えられると知った。
- ・その仕事に就くまでもいろいろな方法や道があるんだと知れた。
- ・自分自身がもっと、マナーを考えて行動しなくちゃいけなかったと反省した。
- ・今起きている問題など全然知らなかったし知ろうとしなかった。もっと世の中に関心を持とうと思った。
- ・実行委員の人たちの、盛り上げようとしている頑張り、涙、楽しく苦しく頑張っていた姿が見えて感謝の気持ちが前より大きくなった。今回の体験で「ありがとう」の言葉の大切さを身にしみて感じた。
- ・大人と話すってなんて楽しいんだろうと思った。
- ・違う職種なのに、言ってることや原動力になるものは一緒なのに驚いた。
- ・話を聞いて「就職がゴールではない」という意味が分かった。自分も大人になったときに子供たちに伝えられる大人になりたい。
- ・いろいろな人の話を聞いて、いろいろな価値観に触れていきたいと思った。
- ・興味のないことでも、話を聞くと楽しそうだと思えて、やってみたいな~とも思えた。
- ・一つのものに固執するのではなく、いろいろなものに目を向けて決めていきたいなと思った。
- ・できるできないではなく「やる！」何事にも挑戦するようにしたい。
- ・伊那市クイズ、意外に正解できなくて驚いた。
- ・思ってもみなかった細かいところに気を付けて仕事をしているんだと気づけた。
- ・実行委員が何か月も準備していたと知り、感謝しかない。
- ・仕事、働くことに無関心だったけど、興味が持てた。
- ・働く大人はカッコいいな。
- ・将来飛び立つ自信が持てた。
- ・自分の夢に向かって頑張りたい気持ちが強くなった。
- ・子供が大人になった時を考えられる人になりたい。
- ・体育館では見られない、工場内での様子を Zoom で案内してくれたのはうれしかった。

出展者ブースの様子と感想

準備期間が少ない中でしたが、事業所の皆さんは、どう映るかなども考えてスタジオ作りや話の内容を工夫して参加してくれました。



- 急遽ではあったが、市内で感染者が確認された状況の中では妥当な判断だったと思う。
- 短い準備期間の中では納得できるものはなかなかできないが、それでも、事前にオンラインの可能性を聞いていたので柔軟に対応できた。
- 生徒実行委員の皆さんの姿に感動しました。
- 最初は何をどうしようか焦りましたが、対面よりも逆に話げできた感じもありました。
- チャットだからこそ質問を出してくれた生徒たちもいた。
- 展示や体験などできなくなったことも多いが、逆に話すという点ではメリットも多かったと感じる。
- 初めての参加でしたので、生徒の自由度が高いことに少し戸惑いがあります。ブース選びなど効率のよい方法があるのでしょうか。
- オンラインになったことで、事務局主導から各企業での判断することが多くなり負担感が増えた。
- 不慣れではあっても、こういう機会に参加することでスキルは上がるので、とても勉強になった。
- 生徒たちが思ったよりも楽しそうに参加してくれた。
- ブース間のスイッチングは10分くらい必要だと思う。

生徒実行委員出展ブース

オンライン開催。「そうだ！生徒実行委員のブースも作って見たら？」「自分たちだったらどんなブース作れる？」そんな軽い投げかけでしたが、生徒実行委員が「こんなブースで話してみたい」「自分の好きなものをテーマにしたい」とあっという間にいくつもの生徒実行委員主催ブース候補ができました。

「ただ話すだけではダメ、そのテーマでキャリア教育として自分たちが伝えたい、聞きたいことをちゃんと考えておかないと、ただグダグダ話す15分になっちゃうよ。キャリアフェスで自分が担当するブースだからね」と大人からはチクリ！

そんな意見にも前向きで、「やりたい！」とオリジナルブースを準備。掛け持ちする人も出てきて計11のブースができました。部活、好きなもの、それぞれのブースを堂々と責任をもって進めていました。



伊那市中学生キャリアフェス生徒実行委員会について

伊那市中学生キャリアフェスは、各学校から2人、計12人の生徒実行委員が主となり、内容を企画しています。生徒実行委員会は、何かを0から企画し計画を立てる、大人と一緒に創り上げる、部活動など学校生活と両立して活動する、市内6中学の生徒と協同していくなどの活動を通して、地域の次世代リーダーとなっていけるような人材を育てる場にもなっています。

生徒実行委員は立候補を基本に募りますが、知らない者同士が一つのチームとなってキャリアフェス当日を迎えることは簡単なことではなく、最初は何をすればいいのかもわからず、指示を待ち、自ら行動することができなかった生徒たちが、考え、悩み、自分たちが担うことの役割や大きさを理解し、自ら「変わらない」という思いを持ち変化し成長していきます。

キャリアフェス当日、大勢の前で堂々と話し、進行し、その場その場で起きるトラブルにも自ら考え、判断し、臨機応変に対応する姿、フィナーレを迎えた時のとびっきりの笑顔は、12人が一回り成長した証です。この12人が先輩として次の年の12人とかわり、継続的につながり、伊那市の未来の大きな力になっていくことを願います。

生徒実行委員感想

- キャリアフェスの実行委員を通して、いかに自分が今まで、お祭りやイベントに参加したりした時にぼ~っと見ていたのかと思いました。アイデアも浮かばず、どうやって作っていけばいいのかもわからず、12人が1つのチームになれていませんでした。そして直前にオンライン開催に変更。聞いたときはショックで悔しくて、どうしたらいいか不安だったけど、ここからの自分たちが、一挙に意見を出し、計画を立て直すことができた時は、自分たちでも驚く速さだったし、なんかとても楽しかったです。
- たたき台のようなものがなく、0から考えていく中で、何度も0に戻って考え直すことは、精神的にも体力的にも大変でした。
- 人前に出ることや、自分の意見を言うことは苦手だったけど、実行委員を経験して人前でしゃべることに対して抵抗がなくなり、キャリアフェス後の学校生活の中で人前でしゃべる役も躊躇なく引き受けられるようになった。
- 自分でも意外だったのは、自分が生徒会長に立候補することになったことです。
- 自分たち自身で自分たちが成長できていることを実感できた。周りの人が変わっていったのも実感できたし、直前の変更も、当日の予測できない状況の中でも臨機応変に対応できたことは、自信にもつながった。
- 最初は何となくだったけど、自分が得る感覚や経験はとても大きく、自分に自信がもてるようになった。実行委員をやってよかったと思えるし、こういうチャンスをもたらえてラッキーだった。この経験を次の代にも伝えていきたい。
- 実行委員を通して、大人と接しいろいろな話を聞く中で、自分の今までの価値観が変わりました。そして、実行委員で考えて計画していくことはとても大変でしたが、終わった後の達成感はそれ以上で、味わったことがない感覚でした。
- 12人がお互いを尊重して、お互いを気にかけて、いいチームになれたと思う。
- 誰がすごかったというわけではなく、全員が雰囲気をつくる、意見を出すということが最後の最後にできるようになったと思う。それまではどこか誰かに頼っていたが、「このままじゃダメだ」と一人一人が自覚し変わったことで雰囲気もすべてをかえることができた。
- キャリアフェスが終わり、学校生活に戻り選挙活動や授業での発表などする中で、班の人の話を聞き出せたり、人前で緊張せず話すことができたり、今まで苦手だと思っていたことなのに、逆にとても楽しいと思えた。
- 学年全体の会で感想など求められたときに、今までは絶対できなかった手を挙げることができた自分に「少し成長できたのかな」と実感できました。
- ブースを担当して、自分が引っ張って人の気持ちを動かすことは難しい、自分の思う流れにもっていくことは難しいと思いました。
- 急遽オンラインになったことが学校で伝えられたときに「絶対つまらないでしょ！」と言っていた友達が忘れられませんか。だからこそ「絶対成功させてやろう」と思ったキャリアフェスはオンラインでも本当に最高でした。
- 何かを計画するときに「想像」しながら計画を立てることができるようになりました。

「もう1回はないけど最高に楽しかった！！」

生徒実行委員リーダー 星野 樹

このキャリアフェスという存在を知ったのが1年生の2月。この時に「やってみよう」と思った一つの気持ちで始まったキャリアフェス生徒実行委員会。全く知らない状態から始まり空気が重い話し合い、昼食、こんな感じで大丈夫なのかな？って思っても言い出せなくてそのまま過ごす。そんな中生徒リーダーになり、もっと視野を広げたり、意見を聞きだしたり、雰囲気を作り出したり、今までと比べ物にならない能力が必要とされて本当に大変だった。

頭では思っていると言えなかったり、出来なかったり、嫌になることは何回もあった。けど、本当にこのままではまずい！という状況に気づき(だいぶ遅かったけど)、その気持ちを自分の行動で見せていこうと思って、話し合いの仕方を改善していったり、自分から意見を出していったりした。そんな風に自分から変えていこうと行動していたら、みんなも協力してくれて、全員でつくり上げていくことができた。オープニングもクロージングもきつかったけど楽しかった。

本番5日前、伊那市でコロナウィルスの感染者が出た。体育館に人を集めて開催する本来の形ができなくなってしまった。「ここでもコロナが邪魔するのかよ」と思ったけど、「オンラインでできる形を1日で考えないといけない」と切り替え、すぐにとりかかった。これが本当に楽しかった！今まで何日もかかっていたアイデア出しが、たった1日で、「いい意見だ」「やってみよう」と思う意見ばかりで、最初のころの話し合いとは全く別物になっていた。ほぼできる状態の形まで創り上げることができた。ここで初めて「俺たちちゃんと成長してたんだ！」と感じてとてもうれしかった。前日のリハーサルも明日のことを想像しながら準備することが楽しかった。

本番、自分たちが積み重ねてきたことを出し尽くすだけ、積み重ねてきたものはとても大きかったから「絶対できる」という気持ちで心配はほとんど無かった。胸を張ってできたと思う。クロージングで機材トラブルがあったけど焦らず対応できたし、最高だった！！

生徒リーダーとして実際にやっていた期間はすごく短かったけどめちゃくちゃ苦労した。それ以上に当日とても楽しかった。みんなを引っ張っていったかはわからないけど、自分自身は言葉に表せない達成感と走りぬいたという気持ちを最後に味わえた。本当に楽しかった。



生徒実行委員会の様子



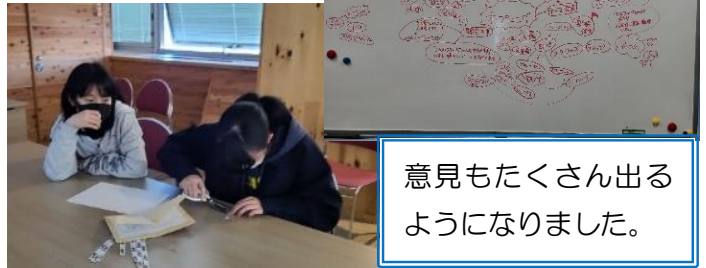
自分の意見を遠慮せずに出すこと。これが意外に難しい。「こんなこと言っているのかな?」「あってるかな?」そんなことは気にせず意見を言えるようになるまでにはかなりの時間がかかりました。



合宿には市長も激励に来てくださいました。



お互いのTシャツにメッセージ。



意見もたくさん出るようになりました。

- 3月 第1回生徒実行委員会 (初顔合わせ)
- 4～7月 月1回生徒実行委員会開催 (オンライン会議含む)
- 夏休み 生徒実行委員会一泊二日合宿
- 9月～10月 生徒実行委員会 計画状況により月1～2回
- 11月 前日リハーサル含め3～4回 生徒実行委員会開催
- 12月 第14回生徒実行委員会 (まとめとお疲れ様会)
- 2月 次年度への説明会
- 次年度 アドバイザー的な立場で参加



中3、高1になった先輩たちも来てくれます。立場を変えてかかわることで新たな学びの場になります。



やり遂げた達成感は何物にも代えがたい笑顔になりました。

白鳥孝伊那市長のお話より

新型コロナウイルス感染症が市内で発生したことで、3日前までは開催ができないと思っていたが、生徒実行委員の熱意で「とにかくやろう!」「リモートでもできるかもしれない」という思いで、実行委員のみなさんが大変苦労し悩み、こうして環境を整え開催できたことに感謝します。ありがとう。

このオンライン開催に協力いただいた多くの方々を含め、伊那谷には素敵な企業が沢山あります。世界に通用する企業が沢山あります。そしてそこで働くステキな大人たちが沢山います。ぜひその姿を見てほしい。その姿から伊那で暮らす、暮らし続けるというきっかけになるのもキャリアフェスである。ぜひ伊那で暮らしてほしい。

私は大学を出て伊那市に戻りました。その時、これほど素敵なおところは無いと気づきました。南アルプス、中央アルプスがあって広い大地があって、山岳の景観、里山の景観は最高!四季があり、山に雪が降れば平地ではモミジが赤く、春になれば残雪の山々に里では桜が咲いている。こんな景観は世界でもここでしかありません。そんなことを知ってもらいたい。自分たちが暮らしているところがどんなにステキなおところかを知ってもらいたい。

伊那市は、新しい取組にも積極的です。最先端の技術を使ったスマート農業や、過疎地への自動配車サービス、ドローンの活用、モバイルカーを使っての医療診療、また、面積の82%を占める森や自然を活用し、環境に配慮した取組もしている。CO₂を出しても森が吸収できるような仕組みを作ることもしています。薪ストーブもその一つです。学校にあるペレットストーブもその一つ。ほかにも学校給食や温泉施設のボイラー、みはらしのいちご園や野菜のハウスのボイラー、これらのボイラーもペレットボイラーです。二酸化炭素削減に向けた取り組みも自然豊かな伊那市では日々の暮らしの中で実行できる。山の手入れもしているから山からの水も安定的に出ます。その水を飲み水の他にも農業、工業に使う。身の回りのエネルギーや資源を循環させて生活できる場所、こんな持続可能な社会が実現可能な場所はなかなかないんです。非常に地球にやさしい場所でもある。

あと7、8年するとリニア中央新幹線が通ります。東京から飯田まで45分、名古屋から25分、飯田から伊那まで30分。1時間前後で行き来できるようになる。東京で暮らすのも伊那で暮らすのも関係なくなるんだよね。だからここがとてもステキなおところだと知ってもらいたい。そしてこの先、さらに地域課題に取り組み、日本のモデルになるような地域づくりを進めていくことを一緒にやってもらいたい。



実行委員会より

伊那市の人口67000人、中学2年生661人。市民の100人に1人は中学2年生。12人の代表と661人の中学生、そして伊那市を中心とした上伊那地区の100社を超えるはたらく大人が一つになる伊那市キャリアフェス。中学生も大人も、『学校』だけが学ぶ場所ではないというファンタスティックな時間と空間がキャリアフェスだと感じました。

文科省が「予測困難な未来」という言葉を掲げました。将来の社会の変化を予測できない時代に、教育では、子供たちの現在と未来に向けて自らの人生を拓いていく力を育成することが強く求められました。その解釈も不明瞭な中、突然降り注いだ「コロナ禍」。キャリアフェスも「できる」「できない」の推測を繰り返し、開催を信じ、半年間の準備を重ねてきましたが、直前に「参集開催中止」の判断が下されました。「試されている・・・」と思った瞬間、キャリアフェスのエンジンを力強くかけ直したのは、中学生。以前より、勢いを増して。そして、その熱い思いが伊那市、地域企業の方へと伝わり、さらに大きなエネルギーとなって実行委員会に還ってきました。令和2年11月12日は、誰も予想しなかった、誰も経験したことがない一日となって、キャリアフェスの歴史を繋ぐことができました。中学生を支えてくださっている大きな力に感謝です。急な変更にも、前だけを向いて対応して下さった関係の皆様、心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

中学生って、ほんとうにいいな。伊那の大人って、すごいぞ。

伊那の中学生って、羨ましい。伊那の大人って、ほんとうに素敵だな。

伊那市中学生キャリアフェス副実行委員長

春富中学校長 有賀 泰司

「人は誰と出会い、何に痺れたかで決まる。」社会の成熟と共に、子どもと大人の接点が希薄になった現代において、親でも学校の先生でもない地域の魅力的な「**第三の大人**」の生き様に**安心して出逢うことができる場**をキャリア教育の一環としてすべての中学生に届けたい。今回のフェスは第1回伊那市中学生キャリアフェスの立ち上げから関わってきたスタッフみんなの願いが新型コロナウイルス感染症の拡大により試されることとなりました。

スタッフ募集の時点から感染予防配慮の必要性により、通常できていた活動が制限されギリギリまでこの企画がどうなるのか不確定な状況におかれました。そんな中でも士気を高め必死に準備してきた矢先、開催5日前に出された開催中止の判断は、かすかな望みをつないできた生徒実行委員の心を大きく揺さぶりました。

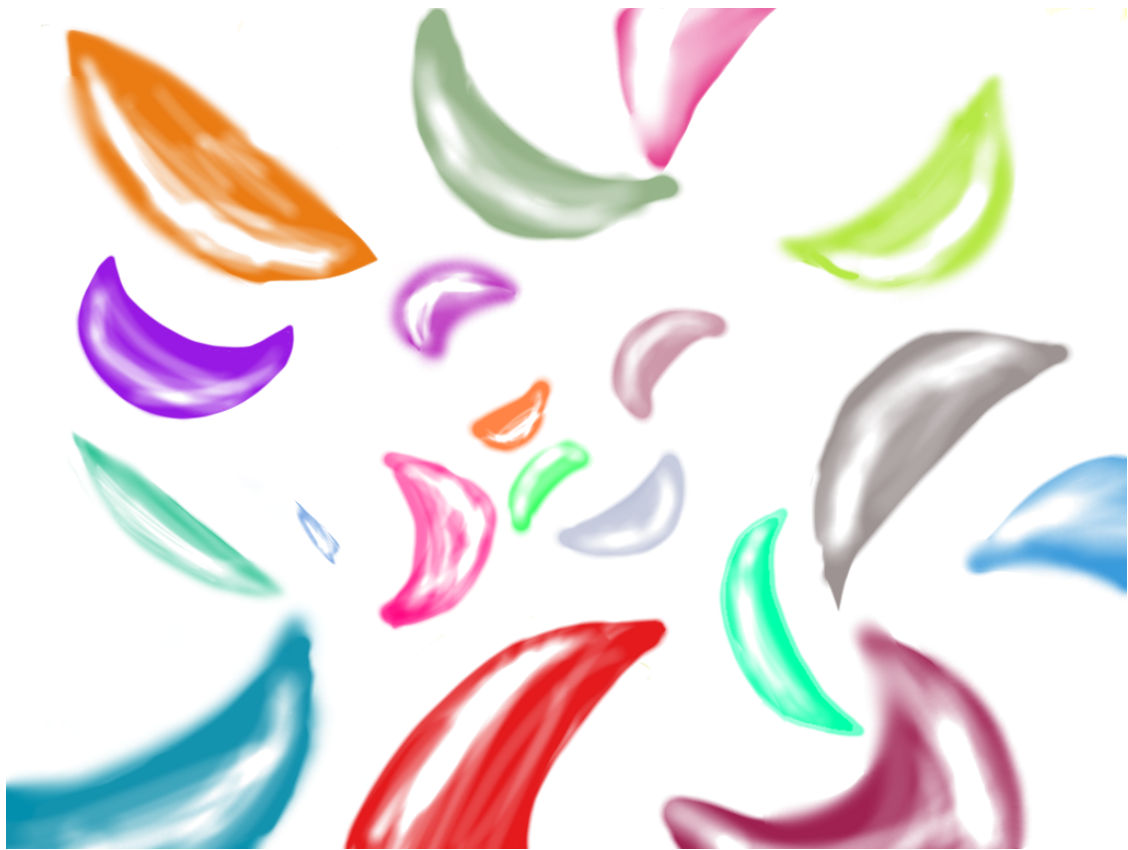
「悔しい。このまま終わりがたくない。」「**僕たちの後ろには、キャリアフェスを心待ちにしているたくさんの友達がいる。**」「**なんとかならないか？**」半年に及ぶ数々の会議や取組、企画立案と白熱の討論！リハーサルと本気のダメ出し。沢山の笑顔や涙が走馬灯のようにメンバーの頭を駆け巡った一瞬でした。「僕らのこの願いを白鳥市長に届けて欲しい！！」スタッフ一同迷いはありませんでした。生徒実行委員の総意でオンライン開催につなげた熱意。あの時、彼らと流した涙は忘れることができません。

コロナ禍という苦難は、生徒たちにとってキャリアフェスを単なるイベントではなく未知なるものへの挑戦と、沢山の人の出逢いを自分たちで創り上げ提供する実践の場に進化させてくれました。フェスが終わり、やり切った自信に満ちた彼らの成長を見聞きする度、郷土愛の精神は次代へと確実に受け継がれていると実感します。**卒業した生徒たちが大人としてこのフェスに関わるその日を夢見て、これからも出逢いの場を繋いで参りたいと切に願います。**全ては子どもたちの笑顔溢れる未来のために。。。

末筆になりましたが、伊那市中学生キャリアフェス2020開催に際してご尽力いただきました参加団体の皆様、運営スタッフはじめ応援していただいた全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

伊那市中学生キャリアフェス実行委員長

田畑 和輝



伊那市中学生キャリアフェス実行委員会

委員長：田畑和輝（教育委員会）・副委員長：有賀泰司（春富中学校長）

春日一哉（伊那食品工業（株））・羽根井友子（伊那商工会議所）・向山眞（伊那市商工会）・有賀にや（JA 上伊那）・園田やよい（伊那市社会福祉協議会）・傳田智子（上伊那広域連合）・小林茂嵩（伊那青年会議所）・橋爪眞弓（伊那中央行政組合）・吉澤達也（富県公民館）・吉瀬典子（高遠第2・3保育園）・網野俊輔（加納屋）・清水慎一（菓匠 Shimizu）・山田光洋（東部中PTA）・久保田仁（長谷中PTA）・保科潔・川上沙紀（伊那中）・松村健太郎（東部中）・古田剛輝（西箕輪中）・田井倫子（春富中）・原洋一（高遠中）・城倉淳（長谷中）・北原大平（商工振興課）・小牧学（危機管理課）
小林宙（企画政策課）・福澤清・井口英史・竹松政志・久保村英未子（学校教育課）

生徒実行委員会

リーダー：星野樹（伊那中）・副リーダー：伊藤愛夏（高遠中）

林琉姫（伊那中）・有賀涼介・松野りか（東部中）・薩摩林佑真・藤森ななせ（西箕輪中）・井口朋美・高橋晃大（春富中）・守山千鶴（高遠中）・伊藤嶺翼・芳澤もも（長谷中）

※ 順不同敬称略

伊那市中学生キャリアフェス実行委員会事務局：伊那市教育委員会学校教育課内

電話：0265-72-3351 FAX:0265-72-4142